

みんなが主役! みんなでつくる 人にやさしいまち横手



横手市 社協だより

47号
2016.1.1

横手市社会福祉協議会

迎春

餅つきで持ちつ持たれつ
つながりつくる

昨年12月16日(水)、平鹿地区福祉協力員会主催の「高齢者と園児のふれあい交流会」が樽見内保育園を会場に開催され、歌や踊り、伝承遊び、餅つきなどで交流しました。この地域では、住民や団体等が一丸となり、様々な行事などを通して地域の結びつきを強くする活動を行っています。社会福祉協議会は、そうした地域主体の活動を応援して参りますので、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

新年あけましておめでとうございます



「オールボランティア」めざして

会長 佐々木 義広
横手市社会福祉協議会

あけましておめでとうございます。昨年は戦後七十年の節目の年ということで、過去の戦争の実態があらわにされ、凄惨をきわめた戦いと苦難の生活が報道されました。また、その後、戦禍と貧困から立ち上がり、助けあい支えあつて今日の平和で豊かな社会の実現に至っていることも伝えられ、これからの国の安全について国民的議論が一段と高まってまいります。

当会も合併して新横手市社会福祉協議会が誕生して以来十年となり、これまでの活動内容が問われる年となったところです。当初、合併すれば地域の絆が薄れるのではないかと懸念はありましたが、一面では公助に頼らず、自助、共助の意識が高まりつつあるのではと思われまます。

そして今、多くの皆さんのご努力により、平穏な日々を過ごしているわけです。しかしながら、繁栄社会の歪みとも言えます。しかしながら、国・地方を問わず少子高齢化、人口の減少とともに介護・子育てに対する不安など、私たちが暮らす地域社会や家庭環境は多様な生活課題を抱えております。これらの課題を一つ一つ乗り越えていかなければなりません。本会では、横手市のご指導により、新たに策定した地域福祉活動計画のもと、これまで培ってきた支えあい・助けあいの活動を更に広めて参りたいと考えております。皆さんと

一緒に取り組んでいる「ネットワーク活動」や「いきいきサロン」「支えあいマップ」等の福祉活動を更に進めるとともに、町内会、自治会、老人クラブ、婦人会、ボランティア等の理解と協力を得て、安全・安心に暮らせる地域づくり、ひいては将来にわたって活力のある社会づくりの構築に向けて、その一翼を担って参りたいと思っております。

私は二年前のご挨拶で「自らの心の糧」としてボランティア活動を進めようと思っておりますが、再度提唱していきたいと思っております。ボランティアと言っても個人で活動するには取り組みにくい面もありますので、地域の組織等に加わり一緒になって進められるところでは老人クラブや婦人会、それに町内会等があります。それぞれの団体・グループとも清掃活動や見守り活動等、何らかの奉仕活動を計画しておられますので、まずは加入・参加することです。また、スポーツや伝統文化の継承を通して青少年の育成に当たることなど様々な活動の形があります。これからは市民それぞれが、持てる知識・能力を活かして社会に役立てていくことが求められております。社会福祉協議会は、そのために応援して参ります。

めざすは「市民オールボランティア」きつと視界が開けてくると思っております。

ふくしな 年男・年女たち

～今年の抱負をお聞きしました～

介護サービスのご利用者や福祉分野で活躍されている申年生まれの皆さんに、今年の抱負についてお伺いしました。



昭和7年



遠藤 清司さん

(雄水苑)

雄水苑に入所して二カ月くらいですが、ここは暖かいし、職員さんも親切で安心して生活できています。こうした生活の中で、よく寝て、たくさんご飯を食べることが健康の秘訣になっています。自分は将棋が得意なので相手をしてくれる人がいたらいいなあと思っています。今は膝が痛くて思うように足を動かせませんが、少しずつ体操をして、七十歳から始めた卓球をまたやりたいです。

36538

昭和7年



加瀬谷 テルさん

(憩寿園)

私の元気の源は、憩寿園での毎日のおいしい食事です。いつも何でも残さずいただきます。特にお魚が大好きです。また、農業に専念していた頃の経験を活かして、園内農園での野菜の苗植えや水やり、収穫作業をお手伝いしました。お陰様で昨年も明るく健康に過ごすことができました。今年も施設の皆さんと楽しくお話ししながら、心地良い時間を過ごしていきたいと思っております。

36538

昭和19年



佐々木 一郎さん

(大森地区福祉協力委員会会長)

福祉協力委員会の事業の展開にあたり、役員会で具体案を練り上げ、実施にも参加者が少ないことで何か妙案を、と考える昨今です。そんな中、地域福祉活動応援事業は確々と感じます。各地域単位の活性化がやがて地方創生の大きな源になると信じ、地域福祉活動の応援に今後も取り組みたいと考えております。

377組

平成16年



三浦 芽咲さん

(栄小学校五年/福祉教育活動推進校)

去年、学校田のお米でおにぎりを作り、祖父母交流会をしました。地域の方と食べるおにぎりは、とてもおいしかったです。また、保育園の運動会でボランティアをし、園児のお母さんたちと準備や競技をしたことが良い経験になりました。今年も地域の方とつとふれあい、自分から進んでボランティアをしたいです。栄小学校の六年生として、低学年のお手本となるようにがんばります。

365377組

昭和55年



柴田 誠悦

(十文字福祉センター通所介護事業所職員)

一年は早いもので、去年は本当にあつという間でした。日々の仕事の中、ご利用者様とご家族の方々と接していくことで、自分自身を磨かせていただいた年でした。介護職員不足と言われている現代ですが、今年も介護のプロとしての自覚を持ち、同僚と力を合わせながらより良い介護サービスで、ご利用者の満足とご家族に安心を提供できるように、今まで以上にがんばっていきたく思います。

365388

横手市社会福祉協議会 新体制

本会役員等の改選が行われ、新体制となりました。

■任期 平成27年11月25日 平成29年11月24日	理事・監事 会長 佐々木 義広 (大雄) 副会長 藤部 健太郎 (横手) 理事 高橋 英二 (平鹿) 近江 優夫 (十津) 石野 千鶴子 (横手) 小笠原 恒男 (雄物川) 矢野 絹子 (雄物川) 守屋 桑悦 (大森) 吉田 悦男 (十津) 高橋 守 (山内) 佐藤 慶子 (山内)
■任期 平成27年9月1日 平成29年8月31日	評議員 齊藤 純子 (横手) 菅原 多一郎 (横手) 鎌田 一 (横手) 谷川 都子 (横手) 滝井 亮一 (横手) 渡邊 健子 (横手) 松井 順子 (横手) 天童 順子 (増田) 佐々木 幸雄 (増田) 片倉 由美子 (増田) 佐藤 芳知 (平鹿) 大和 道子 (平鹿) 武藤 吉克 (平鹿) 田代 繁人 (平鹿) 中村 アヤ子 (雄物川) 小西 茂 (雄物川) 東海林 隆介 (雄物川) 岡固 毅 (雄物川) 大沼 ワカ子 (大森) 嵐 良子 (大森) 高村 正友 (大森) 近村 成一 (十津) 石垣 節子 (十津) 佐藤 克己 (十津) 加藤 ヨウ子 (十津) 石原 達雄 (山内) 藤原 秀夫 (山内) 高橋 弘子 (山内) 永吉 之 (大雄) 金龍 一 (大雄) 菅山 篤司 (大雄)

本年も役員一同、よろしくお願ひ申し上げます

わたしのまちの **いきいきサロン**

11.18 水 朝倉関根いきいきサロン (横手)

も、隣の方と作品を比べたり



三年目となった千支の土鈴の絵付け。真剣な表情ながらも、隣の方と作品を比べたり

談笑しながら、作業を楽しま
れていました。十二支が揃っ
まで続けていくそうです。
代表世話人：
内田 麗子さん
私たちのサロンでは、毎回
参加者の顔を見て元気を確認
し合っています。今回の土鈴
づくりのほか、生きがいや健
康づくりにつながるよう内容
を工夫しています。これから
も楽しみにしてもらえサロ
ンをめざしていきます。

11.13 金 山内土淵地区いきいきサロン (山内)

生士の指導により、口の中



いつまでもおいしいものを
おいしく食べようと、歯科衛

機能を学びながら、舌を動か
したり声を出すなどの実践を
交えて、口腔ケアの大切さを
学びました。
代表世話人：
高橋 孝子さん
体内機能を刺激するため歌
の発声やラジオ体操を行っ
り、季節の行事や研修会、楽
器の演奏を行うなど、参加者
みんなで楽しむことをモット
ーとしており、笑顔の絶えな
いサロンです。

雄物川

共に生きる地域づくりのために

雄物川小学校の体験学習



体験学習を通して支えあいの大切さを実感したようです

11月5日(木)～6日(金)、福祉教育活動推
進校の雄物川小学校4年生児童を対象に、疑似
体験セットや車いすを使った高齢者・障がい者
疑似体験学習を行いました。

この体験を通して「大変さを実感した」「怖
かったけど声をかけてもらおうと安心した」な
どの感想があったほか、「体の不自由な方のた
めに自分たちができることは」との質問があり、
誰であっても一人ひとりの求めていることは違
うこと、自分自身でがんばってみようとする
ことなどを伝えながら、まずは声かけから
始めてみることを提案しました。

みんなで支えあう地域づくりが益々大切
になってくる中、福祉教育として体験学習だけ
ではなく、同じ人間として地域で共生してい
くことの大切さも伝えていきたいと思いま
す。

平寿苑 12.8 火



病 焼 き
地域の伝統行事「病焼き」
(病払い)を行い、ご利用者
手作りのおやきを食べなが
ら、無病息災を祈願しました。

増 田

年末年始の安心をお届けしました

年末安心パトロール声かけ運動

昨年12月、増田地区福祉協力員会では、閉
じこもりがちになる冬期間の見守り強化のた
め、町内会長や民生委員等と協力しながら、お
一人暮らしの高齢者世帯等への訪問活動を行
いました。

各訪問先で生活上の困りごとをお聞きしたと
ころ、一番多かったのが雪に関する不安の声。
本格的な冬を前に、除雪に不安を抱えている方
が多く、今後は除雪ボランティア活動による支
援などにつなげていきたいと考えています。

一方で、近所の方に除雪を手伝ってもらっ
ている世帯も多く、そうした地域の支えあいが更
に広がっていくよう、地域福祉活動を進めてい
く必要性を改めて感じました。

こうした活動は、年末年始を中心に多くの地
域で取り組まれており、寒い中での“ぬくもり”
ある活動が地域の安心につながっています。



地域のぬくもりある活動が地域の方々を支えています

十文字 11.26 木



福祉協力員・
民生委員合同研修会
三重地区の福祉協力員と民
生委員合同の研修会を行い、
連携事業の協議や環境保全の
ことについて学びました。

横 手

“父ちゃんサンタ”のボランティア活動

よこて父ちゃんの楽校



大小様々な障子を手際よく張り替えていきました

12月10日(木)、父ちゃんの楽校会員が、お
一人暮らしの高齢者宅の障子張り替え活動を行
いました。

これまで、地域貢献として公共施設での張
り替えを行ってきており、この実績から対象世
帯の担当ケアマネジャーより依頼が舞い込み、
今回実施したものです。

当日は8名の会員が参加し、「いい正月を迎
えてもらいたい」との願いを込めながら、大小
様々な大きさの障子を手際よく張り替え、完成
後はお宅に伺って取り付けも行ってきました。

また、12月15日(火)にはクリスマス飾り
づくりを行って市内の児童福祉施設にお届けす
るなど、“サンタクローズ”から地域への一足
早いプレゼントに、大変喜んでいただけたので
はないでしょうか。

大 雄 11.20 金



満一〇〇歳のお祝い
デイサービスをご利用いた
だいている水瀬善次郎様(精兵
村)の満一〇〇歳をご利用者の
皆様と職員でお祝いしました。

善意

ありがとうございました

平成27年11月1日～12月15日受付分

※善意は寄付金や物品等をお寄せいただいた皆様、ボランティア活動にお越しいただいた皆様をご紹介します。

【横手福祉センター受付】

- 村上 陸様 (寿 町)
- 安藤 詔子様 (上真山)
- 佐藤 良子様 (南 町)
- 黒崎 由紀様 (朝倉町)
- 鈴木 由紀子様 (平鹿・浅舞)
- 堀江 茂寿様 (間明田)
- 艶歌嘉舞義会様
- よこて女性コーラス様
- とっぴんぱらりのプー様
- 平鹿総合病院様

【平鹿福祉センター受付】

- 武内 良悦様 (林 崎)
- 谷口 賢一様 (本 町)
- 龍泉寺様
- よねや浅舞店様

【雄物川福祉センター受付】

- 鈴木 江里子様 (大雄・田根森)
- JA助け合い組織ひらり様
- とっぴんぱらりのプー様

【十文字福祉センター受付】

- 高橋 幸造様 (上仁井田)

- 植田小学校6年生様
- アンサンブル・リベラ様

【山内福祉センター受付】

- つむぎの会 畑 則子様

【大雄福祉センター受付】

- 佐々木 好徳様 (上田村)

【平寿苑受付】

- 柴田 ヒテ様 (田ノ植)
- 長井 正蔵様 (横手・大戸町)
- 平鹿町理容組合様
- 傾聴ボランティアささやき様

【雄水苑受付】

- 熊谷 秋夫様 (十文字・梨木)
- 傾聴ボランティアひまわり様
- アンダンテの会様
- 樽見内保育園ばら組様
- 雄物川町美容組合様
- 雄物川町理容組合様
- おものがわ町きのご生産
婦人研究会様
- 雄物川町農産物直売の会様

【憩寿園受付】

- 熊谷 秋夫様 (梨 木)
- 伊藤 みゆき様 (荊 島)
- 傾聴ボランティアささやき様
- 認定こども園こひつじ様
- 十文字ライオンズクラブ様
- スーパーモールラッキー様
- 十文字第二小学校4・5年生様



雄物川町農産物直売の会様とおものがわ町きのご生産婦人研究会様より、りんご6箱(60kg)、椎茸とぶなしめじ(計6.1kg)を雄水苑にご寄贈いただきました。



Q デイサービス(通所介護事業所)ってどんなところなの?

A 介護や支援が必要な方を対象とした日帰りの通所サービスです。

看護師による健康チェックや食事、入浴などの日常生活上の支援、ご利用者の身体状況に応じた機能訓練などを行います。

ご利用いただくことが外出するきっかけとなり、寝たきりや閉じこもり防止につながります。また、レクリエーションや季節の行事などを通じて、ご利用者同士の交流の場ともなっております。

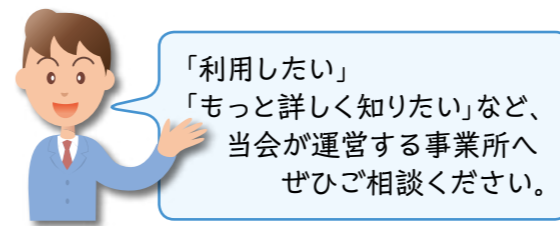
Q 1日の過ごし方ってどうなっているの?

A 1日の過ごし方は次のとおりです。(あくまでも目安であり、事業所により異なります)

- 8:30 送迎(車いす対応のリフト車でご自宅にお迎え)
- 9:30 看護師による健康チェック
- 10:00 入浴(手すりのついた一般浴槽。車いす、寝たままでも入れる特殊浴槽での入浴)
- 12:00 昼食・お昼寝
- 14:00 レクリエーション・機能訓練
- 15:00 お茶の時間 ~ 15:30 送迎(ご自宅までの送り)

Q レクリエーションや機能訓練ってどんなことをしているの?

A レクリエーションでは輪投げや玉入れ、数字合わせなどのゲームや折り紙を使った創作活動、また機能訓練ではご利用者の身体状態にあった指先運動や体操、歩行訓練等を行っています。その他にも、児童生徒やボランティア等による交流活動、芸能披露などが行われています。



「利用したい」「もっと詳しく知りたい」など、当会が運営する事業所へぜひご相談ください。

康寿館指定通所介護事業所(横手)	☎ 32-8180
平寿苑指定通所介護事業所(平鹿)	☎ 38-7011
雄風荘指定通所介護事業所(雄物川)	☎ 22-3400
十文字福祉センター指定通所介護事業所(十文字)	☎ 55-2211
大雄福祉センター指定通所介護事業所(大雄)	☎ 52-3311

次回は…「特別養護老人ホームってどんなところ? ショートステイってなに?」

あなたの自立をサポートします

様々な事情により経済的に困りの市民の皆様を対象とした相談窓口を開設しています。ひとりでお悩み、まずはご相談を。

■横手市くらしの相談窓口(市役所本庁舎1階)
TEL: 32-6101 FAX: 33-7838

増田福祉センター事務所移転

12月14日(月)より、増田庁舎および増田地区多目的研修センターの改修工事に伴い、増田地域局二階西側に事務所を移転しました。

移転に伴い住民の皆様には不便をおかけいたしますが、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

- ◆住所: 増田町増田字土肥館173番地(横手市役所増田庁舎2階)
- ◆TEL: 45-4848
- ◆FAX: 44-7867

看護職員募集

本会が運営する特別養護老人ホームやデイサービスで働く看護職員を募集しています。
※詳細については下記へお問い合わせください。

- お問い合わせ●
- 本部総務課 ☎ 36-5377 人事担当: 佐藤

お知らせセンター

除雪ボランティアの募集

降雪期間に高齢者世帯や障がい者世帯などの除雪活動に参加いただけるボランティアを募集します。

- ◆募集対象/除雪作業ができる個人、団体、企業など
- ◆活動期間/一月～三月の降雪期間中(随時)

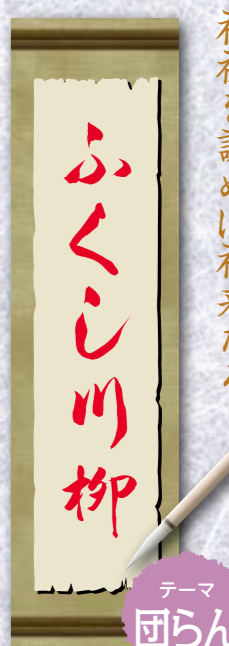
◆活動内容/高齢者世帯や障がい者世帯等の家屋周辺での除雪作業

※雪下ろしや危険と判断される作業は行いません。
◆活動条件/社協に登録の上、ボランティア活動保険に加入していただきます。

◆除雪用具/原則、スコップやスノーダンプを持参していただきます。

◆お問い合わせ/本部地域福祉課 ☎ 36-5377 又は最寄りの福祉センターまで

福祉を詠めば福来たる



テーマ 団らん

- 一、三世代家族団らん 錫囲み (ペンネーム 宏ちゃん/増田)
- 一、錫囲み団らんはずむ雪の夜 (阿部 昭二さん/増田)
- 一、年の瀬に親子の語りなべ囲む (武内 良悦さん/平鹿)
- 一、鍋囲み始めは孫に「ハイどうぞ」 (ペンネーム あいりのじいちゃん/十文字)
- 一、お正月家族団らん 福笑い (土谷 ナミさん/山内)
- 一、子や孫と家族団らん 待つ祖父母 (宮川 信市さん/山内)
- 一、寒くなり体をよりそうこたつかな (ペンネーム 鈴木/大雄)

ご応募ありがとうございました

次号(3月31日発行予定) テーマは…「巣立ち」

出会いや別れの季節、旅立つ方や見送る方々様々な思いがあるのではないでしょうか。次号のテーマは「巣立ち」です。

【応募方法】
作品(1人2点まで)と氏名(ペンネーム可)、連絡先をご記入の上、ハガキやFAX、メールでご応募ください。(様式は問いません)
〒013-0072
横手市卸町5-10
横手市社会福祉協議会
「ふくし川柳」係
FAX: 36-5388
e-mail: tiiki@yokote-shakyo.jp

【締切日】
平成28年2月29日(月)

たくさんの応募作品の中から数点をご紹介します。(順不同)

ふくしな人たち

藤原 みなみさん
(県立横手養護学校高等部 3年・雄物川)
れお 怜 央さん
(県立横手養護学校高等部 1年・雄物川)

共同募金協力企業

レ・メエル秋田有限会社
(横手)

家族や学校等に支えられながら
大活躍している二人です
(写真右：みなみさん、左：怜央さん)



藤原みなみさんと怜央さんの姉弟は、卓球の
全県・全国の障がい者スポーツ大会に出場し活
躍されています。みなみさんは昨年度の全国大
会で2位、怜央さんは今年度の同大会で3位、
そして昨年8月の全県大会では二人とも1位と
なるなど、輝かしい成績を収められています。

中学校から競技を始め、当初は難しいと感じ
ていたようですが、卓球以外にもバスケットボ
ールやサッカーの部活にも所属するなど体を動
かすことが大好きな二人は、熱心に練習に打ち
込み、めきめきと頭角を現していました。

市内では練習できる場所が少ないため、現在
は毎週土曜日に秋田市に通っての練習となっ
ていますが、「卓球の日本代表選手になる」との
共通の夢に向かってがんばっています。

学校生活でも、みなみさんは「漢字検定の合
格」、怜央さんは「社会に出るための言葉遣い
を身に着ける」を目標に掲げて日々努力してお
り、これからも培った力を最大限に発揮される
ことでしょう。

眼鏡や補聴器を取り扱うレ・メエル秋田様。
同社では、平日は毎日、県南地域の介護施設を
視力測定車で訪問して無償で眼鏡や補聴器のメ
ンテナンスを行っています。また、施設のご利
用者はもちろん、そのご家族からのご依頼に応
じて、視力や聴力の測定を行い、その方にあっ
た眼鏡などの提案を行っています。

先の東日本大震災では、被災地の方や市内に
避難されてきた方に無償で眼鏡を提供されてい
ました。現在も県南地域に避難されている方に
提供されているほか、売り上げの一部を赤い羽
根共同募金に寄付する取り組みに協賛されるな
ど、積極的に社会貢献活動を行っています。

今回の取材に応じていただいた高橋勇喜さん
からは、「福祉施設を訪問する際には、安心感
を与えられるようゆっくり優しく話しかけるこ
と、快適な生活を送れるよう不便がないかお伺
いし、最適なご提案をすることを心掛けていま
す」とお話しいただきました。

相手に寄り添いながら、一人ひとりに合った
「見える喜び、聴こえる幸せをご提案」されて
いる同社の今後益々のご活躍が期待されます。



ふれあいながらその方に合った
喜びと幸せを提案しています
(市内養護老人ホームでの活動
の様子)

「ふくしな人たち」は地域で福祉活動や社会貢献を行っている方や団体、企業など、
また自立更生や生きがいづくり等に努められている方々を紹介します。

本年もよろしくお願ひいたします

社会福祉協議会は、住民の皆様の参加と関係機関・団体との協力により
「住みよい福祉のまちづくり」を進める、社会福祉法(第109条)に定められた民間団体です。

■横手市社会福祉協議会本部 TEL.36-5377

横手福祉センター TEL.33-8668
増田福祉センター TEL.45-4848
平鹿福祉センター TEL.24-3283
雄物川福祉センター TEL.56-2072

大森福祉センター TEL.26-3274
十文字福祉センター TEL.42-5858
山内福祉センター TEL.53-3009
大雄福祉センター TEL.52-3311

(市外局番 0182)

特別養護老人ホーム平寿苑 TEL.38-7011
特別養護老人ホーム雄水苑 TEL.22-4561
特別養護老人ホーム鵜寿園 TEL.42-2510
横手市くらしの相談窓口 TEL.32-6101

横手市社協だより ●発行●横手市社会福祉協議会 〒013-0072 横手市卸町5番10号 TEL.36-5377 FAX.36-5388

E-mail shakyou5@agate.plala.or.jp

ホームページ <http://www.yokote-shakyo.jp/>

この「横手市社協だより」は、社協
会費と共同募金の配分金を活用し
て発行しています。